

花とみどりで地域を盛り上げる



花壇植え替えの様子



作品製作の様子

公民館の沿革・年表

昭和49年 静岡市南部公民館 開館
 昭和59年 優良公民館表彰受賞
 平成20年 静岡市南部生涯学習センターへ移行
 平成21年 指定管理者制度導入
 (指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団)
 平成27年 「なんぶ花いっぱいプロジェクト」開始
 平成30年 第14回花壇コンクールふれあい花壇賞
 受賞(静岡市花と緑のまちづくり協議会主催)
 令和5年 優良公民館等静岡県教育長表彰受賞

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

●「なんぶ花いっぱいプロジェクト」メンバーは、年
 14回の講座で花壇づくりやデザイン等について学び、セ
 ンターや地域の花壇を整備することで学習成果を地域
 に還元している。写真1枚目は、講師がヨーロッパやアジア
 の庭園から着想を得て考案した花壇デザインをも
 とに、メンバーがセンター花壇を整備する様子。
 ●活動について発信するため、静岡市の地場産業を広
 く紹介する「産業フェアしずおか」に毎年出展参加し
 ている。写真は、出展作品を製作する様子。

公民館情報		1. 公民館対象人口	57566人	4. 利用可能時間	9:00~21:30
		2. 建物設置年月日	昭和49年4月15日	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
		3. 開館日数	293日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
7. 運営主体	☐ 市町村教育委員会 ☒ 指定管理者 (公益財団法人静岡市文化振興財団) ☐ その他 ()				
8. 来館者数	☒ 学級・講座 4,613人 ☒ 貸館、サークル活動 26,283人 ☐ 講演会、展示会等 人 ☐ その他 人 ()				合計 30,896人
9. 職員数	☒ 専任 4人 ☐ 兼任 人 ☒ 非常勤 3人 ☐ ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 人)				合計 7人
10. 予算	☐ 市区町村予算 ☒ 委託金 ☐ 自治組織等予算 ☐ 寄附等 ☐ その他 ()				
11. 公民館運営審議会	☐ あり ☒ なし ☒ その他 (南部生涯学習センター運営委員会)				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	☒ 地域防災・減災 ☒ デジタル・デバイドの解消 ☒ 家庭教育支援 ☒ 体験活動 ☐ 地域学校協働活動 ☐ 障害者の学び支援 ☐ 日本語教育の推進 ☐ 義務教育未修了者への支援 ☐ 伝統文化継承活動 ☒ 世代間交流活動 ☐ こども・若者の居場所づくり ☒ 子育て支援 ☒ ボランティア養成 ☒ 地域資源を活用したまちづくり ☐ コミュニティ・スクール ☒ 社会人の学び直し ☒ その他 (社会的包摂の実現に資する事業、オンラインの活用、こどもの郷土愛を育む事業)				
13. 施設の特徴、魅力	☒ 複合施設 ☐ 図書館 ☐ 学校 ☐ 生涯学習センター ☐ その他 (静岡市教育支援センター) ☐ 自由記述 ()				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	☐ 幼稚園・保育所 ☒ 小中学校 ☐ 高校 ☐ 大学 ☒ 企業 ☐ NPO ☒ 各種団体 ☒ 行政機関 ☐ 図書館 ☒ 博物館 ☐ 青少年教育施設 ☒ その他 静岡市立南部小学校、株式会社エスパルス、静岡市立登呂博物館、静岡市歴史博物館、自治会、静岡市地域福祉共生センター、地域子育て支援センター登呂ほか				

静岡市南部生涯学習センター

OPEN 9:00~21:30

H P

<https://sgc.shizuokacity.jp/>

TEL 054-281-2184

SNS

X, Facebookともに @shizuoka_sgc, LINEは「静岡市生涯学習センター」

HP

X

Facebook

LINE



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

【なんぶ花いっぱいプロジェクト（ボランティア養成）】

- 生涯学習センターが取り組むべき課題のひとつに、まちづくりの主役となる人材の育成がある。
- 地域内に自治会等が管理する花壇が多数存在することに着目し、地域振興とSDGs（ターゲット11「住み続けられるまちづくりを」）達成の一助とするため、花壇づくりや花木のアレンジという身近なことから地域に貢献できるという充足感を促し、環境整備に関わる人材の育成につなげようと考えた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【なんぶ花いっぱいプロジェクト（ボランティア養成）】

- 平成27年度、当センターの花壇づくりから始まり、同様の活動を行う団体との交流を促進し、協働により地域の花壇整備にも活動を広げている。
- 知識や技術の習得、向上のため、花壇整備を実践する他、自然素材を用いたアート作品の製作、世界の庭園や景観のデザインに関する座学等、様々な事業を展開している。
- 平成29年度には周辺地域の花壇を地図にまとめる「花の地図づくり」、平成30年度には周辺地域の花壇を巡るウォーキング講座「なんぶ花さんぽ」を実施し、周辺地域の情報を収集するとともに、花壇づくりに携わる団体との関係を構築した。
- 令和4年度以降毎年、静岡市の特産品等を市内外に広く紹介する「産業フェアしずおか」に出展参加し、活動実績を発信している。当プロジェクトが静岡市産の花木を活用していることから静岡市農業政策課より参加依頼を受け実現したものである。
- 現在は11名のメンバーを中心に安定的な活動が行われている。



花壇の土を準備する様子



しずおか山産の様子

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

- 年間講座及び関連事業の実施により、花壇整備ボランティアに係る人材を育成する。
- 他団体との連携推進や新たな連携先の発掘、連絡調整により活動の拡充を図る。
- 教育機関との連携推進により、こどもの豊かな感受性の醸成の一助とする。
- 「産業フェアしずおか」等、活動成果発信の場を創出する。
- 花壇整備及び展示作品製作に係り、職員も共同作業を行い、参加者の絆を深める。



花壇デザインについて講師が解説

4. 取組による成果や効果

- 過去には地域の小学校や高等学校、専門学校で児童生徒とともに花壇づくりを行った他、現在もJR東静岡駅周辺の花壇づくり団体と連携し、活動を地域に広げている。
- 令和6年度には、当センターとともに複合施設内にある静岡市教育支援センター「かがやく教室」と連携し、不登校の児童生徒とともに花壇整備を行い、こどもの情操教育や地域交流に寄与した。
- 「地域社会の現状や抱える問題を理解できたか」「こんな社会になってほしいという将来像はイメージできたか」「地域や社会をよくするために行動していきたいか」というアンケートに対し、受講者全員から「はい」と回答を得られ、受講者の評価や満足度、シチズンシップに対する意識の高まりがうかがえる。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

以下の方法で意見や評価を聴取し検証を行い、改善に役立てている。

- 事業実施中の交流や終了後のアンケート調査
- プロジェクト関連事業「地域の花壇づくり情報交換会」の実施
- 近隣小学校教員、自治会関係者、施設利用者等で構成する「南部生涯学習センター運営委員会」の実施



地域の花壇づくり情報交換会

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 「学ぶ楽しさ、つながる喜び、ひとまちも豊かにするセンター」を目指し、多様な学習と交流の機会を提供し、その成果を地域社会に活かしまちづくりに貢献する。
- 取組の継続により、市民が花とみどりに触れ心豊かに過ごすことのできる魅力あふれるまちづくりへの一助とする。
- 学校の地域理解授業で児童生徒来館時に花壇整備体験を行い理解・関心を促す。



花壇の風景に花壇を育てる人

学びと出会える場所



静岡市興津生涯学習交流館(静岡県)

公民館の沿革・年表

昭和 2 3 年 興津町公民館が設立
 昭和 3 6 年 興津町が合併により清水市へ
 平成 1 5 年 清水市と静岡市が合併し新静岡市が誕生
 平成 2 0 年 公民館から生涯学習交流館へ移行
 平成 2 4 年 指定管理者制度導入
 (指定管理者 清水区生涯学習交流館運営協議会)

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

興津地区は、江戸時代より東海道の宿場町として栄えたことから数多くの歴史、文化、伝統が存在しています。この歴史、文化、伝統を次世代に繋げることを目的に、自治会をはじめ各種団体が連携・協働したまちづくり活動を活発に展開している。その活動拠点が生涯学習交流館である。

公民館情報	1. 公民館対象人口	11464人	4. 利用可能時間	9:00~21:30
	2. 建物設置年月日	平成16年3月18日	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
	3. 開館日数	318日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
7. 運営主体	☐ 市町村教育委員会 ☒ 指定管理者 (清水区生涯学習交流館運営協議会) ☐ その他 ()			
8. 来館者数	☒ 学級・講座 8,717人 ☒ 貸館、サークル活動 66,742人 ☐ 講演会、展示会等 人 ☐ その他 人 ()			合計 75,459人
9. 職員数	☒ 専任 1人 ☐ 兼任 人 ☒ 非常勤 6人 ☐ ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人) 合計 7人			
10. 予算	☐ 市区町村予算 ☒ 委託金 ☐ 自治組織等予算 ☐ 寄附等 ☐ その他 ()			
11. 公民館運営審議会	☐ あり ☐ なし ☒ その他 (代替会議体にて実施)			
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	☒ 地域防災・減災 ☒ デジタル・デバイドの解消 ☒ 家庭教育支援 ☒ 体験活動 ☒ 地域学校協働活動 ☐ 障害者の学び支援 ☐ 日本語教育の推進 ☐ 義務教育未修了者への支援 ☒ 伝統文化継承活動 ☒ 世代間交流活動 ☐ こども・若者の居場所づくり ☒ 子育て支援 ☐ ボランティア養成 ☒ 地域資源を活用したまちづくり ☐ コミュニティ・スクール ☐ 社会人の学び直し ☒ その他 (高齢者の学び支援 女性の学び支援 等)			
13. 施設の特徴、魅力	☒ 複合施設 (☒ 図書館 ☐ 学校 ☐ 生涯学習センター) ☐ その他 () ☐ 自由記述 ()			
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	☐ 幼稚園・保育所 ☒ 小中学校 ☐ 高校 ☒ 大学 ☐ 企業 ☒ NPO ☒ 各種団体 ☒ 行政機関 ☒ 図書館 ☐ 博物館 ☐ 青少年教育施設 ☐ その他 (興津小学校 興津中学校 東海大学 NPO法人AYUドリーム NPO法人おきつ 静岡市 興津地区まちづくり推進委員会)			

静岡市興津生涯学習交流館

OPEN 9:00~21:30

TEL 054-369-1111

H P <http://www.sgk-shimizuku-shizuoka.jp>SNS <http://twitter.com/okitusk>

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

平成29年に、興津地区にある清見寺の資料を含む日韓の朝鮮通信使に関する資料がユネスコの「世界の記憶」に登録され、多くの関心が寄せられた。このことを契機として、地域の歴史をもっと多くの人に知ってほしい、次の世代に繋げたい、そのためにはどのようにしたらよいのかと、自治会をはじめ地元で活動するNPO法人、生涯学習交流館職員が検討した。

平和の使者であった朝鮮通信使を親しみやすく、わかりやすく、印象的に伝えていく方法は、また、興津地区の人たちの手で発信していく方法を検討した結果、朝鮮通信使の歴史劇を、自治会、NPO法人、生涯学習交流館が共催で講座として実施し、たくさんの人に見てもらおうとした。地域色ある交流館講座のスタートとなった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【タイトル】歴史劇「和好の意」～仰天した朝鮮通信使～

興津地区でまちづくり活動に取り組んでいるNPO法人AYUドリームが中心となり、そのメンバーと中学生を含む一般公募の参加者13人が、令和6年7月から10回の講座を経て令和6年10月に歴史劇「和好の意」を地域住民の前で披露した。

冒頭の講座では、朝鮮通信使とその歴史背景を学んだ。

9月からの講座では、講師の熱心な指導のもと、歴史劇の本番の舞台に向けて呼吸法、発声法、演じる姿勢や感情表現などを身に着けた。講座の回を重ねるごと出演者同士のコミュニケーションが深まり信頼関係が生まれるなど、全員で作品を創り上げようとする姿勢が汲み取れるようになった。歴史劇披露当日の会場には、中学校の生徒や先生に加え自治会関係者、一般の方も多数来場し、歴史劇を楽しみ、素晴らしい交流の場となった。

参加者のアンケートをみても、劇の内容がわかりやすかったと好評で、大勢の方に朝鮮通信使と興津の歴史を知ってもらおう貴重な機会となった。



写真・10回講座の一コマ 発声法



写真・歴史劇の風景

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【タイトル】歴史劇「和好の意」～仰天した朝鮮通信使～

- ・交流館講座として交流館による応分の経費負担と人的資源を投入している。
- ・交流館施設の貸し出しについて柔軟な対応をとっている。
- ・交流館だよりを活用し各方面に周知している。
- ・交流館講座終了後のアンケートに基づき参加者の意向を踏まえた次年度計画が樹立できている。
- ・交流館事業として取り組んでおり住民理解が深まっている。



写真・会場の様子

4. 取組による成果や効果

【タイトル】歴史劇「和好の意」～仰天した朝鮮通信使～

朝鮮通信使の歴史劇を2018年から上演している。

共催団体であるNPO法人AYUドリームと地元の興津中学校の生徒達にも演劇に出演してもらい、座学のみで歴史を学ぶのではなく、演じながら学ぶことでなお一層の郷土理解に繋がっていると考えている。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

地域の貴重な歴史・文化財産は後世に伝えるべきものであり、自治会、学校等と連携し、取り組みを継続する仕組み・方法を検討する必要がある。



写真・西園寺公望公と坐流荘 歴史朗読

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

まちづくりを行うには関係機関、地域の団体、そこに住む人たちが連携することが重要である。交流館が関係機関としてその役割を果たすとともに、まちづくりに関わろうとする意識をもった人材を育てることを意識して活動を継続したいと思う。

交流館が、今後も地域とのかかわりが深い施設でありたいと思う。



写真・清見寺での歴史講座

静岡市興津生涯学習交流館

歴史劇「和好の意」

～仰天した朝鮮通信使～



興津生涯学習交流館

静岡市清水区興津本町829

昭和23年 公民館の設立

平成15年 静岡市と清水市が合併

新静岡市誕生

平成20年 生涯学習交流館へ移行

平成24年 指定管理となる



歴史劇「朝鮮通信使」を始めた背景・目的



◆ 認知度UP

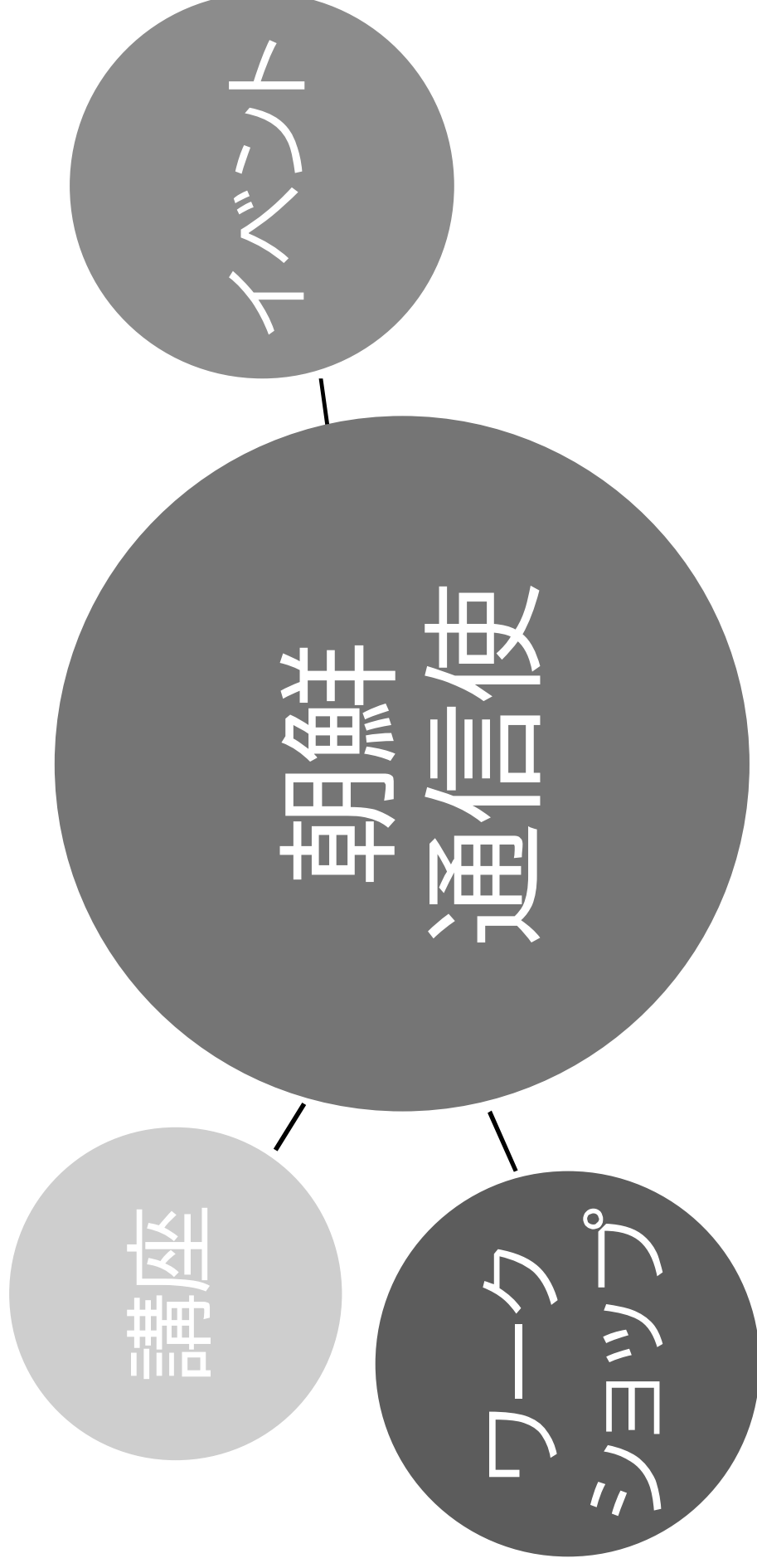
親しみ
やすさ

分かり
やすさ

◆ 次世代へ…

地元の
人たちで

歴史劇「朝鮮通信使」を始めた背景・目的



歴史劇「和好の意」
～仰天した朝鮮通信使～



歴史劇「和好の意」
～仰天した朝鮮通信使～



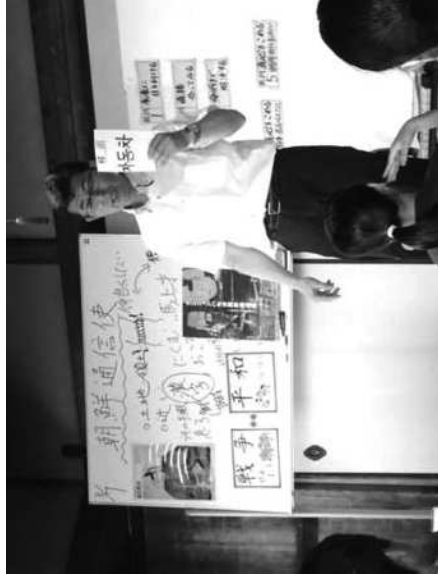
静岡市興津生涯学習交流館 事業紹介

子ども歴史講座 朝鮮通信使を学ぼう！in 清見寺

郷土を愛する心を育む

国指定の三大朝鮮通信使遺跡の一つである清見寺で、子どもが朝鮮通信使について学び、郷土を理解し、郷土を愛する心を育てることを目的に行った。

講師：小泉達生氏



朝鮮通信使 再現行列①



令和6年10月20日(日) 午後1時～



再現行列(興津地区国道1号線)

朝鮮通信使 再現行列②



再現行列



令和6年10月20日(日)午後2時～
清見寺において国書交換式

西園寺公望と坐漁荘

- SPAC所属の俳優を指導演出に迎え、ワークショップ参加者を募り、明治の元老西園寺公望公にまつわる歴史朗読会を実施する。地域の方の文化力を向上し、後世に伝える一助として実施



令和6年12月14日(土)午後2時～

共催 NPO法人AYUD'リーム 興津地区まちづくり推進委員会

令和7年度優良公民館等静岡県教育長表彰 受賞館の取組

施設名	静岡市長田生涯学習センター				
所管部署	静岡市生涯学習センター		HP	https://sgc.shizuokacity.jp/	
	所在地		電話番号		
		静岡県駿河区寺田131番地の1		054-257-0780	X、Facebookともに@shizuoka_sgc
		SNS			

○施設概要



施設の沿革・年表	施設の運営で大切にしている考えなど（PRポイント等を含む）
昭和55年：長田公民館開館 平成21年：長田生涯学習センターに名称変更 平成21年より、公益財団法人静岡市文化振興財団が指定管理者として管理運営している。	近年では、地域包括支援センターや市社会福祉協議会などと協力し、当センターを利用しない方にも参加できる講座を企画しています。高齢者に向けた取り組みにより、孤立をしないよう働きかけを行い、趣味、仲間づくり、ボランティア人材の発掘を進めています。今後も地域の人材を発掘、育成のほか、人と人との繋がりをもてる施設を目指していきます。

市町人口	670566人	施設対象人口	60900人
建物設置年月日	昭和55年	開館日数 (前年度実績)	293日
運営主体	☐ 市町教育委員会 ☐ 市町首長部局	指定管理者 ☐ その他	(☐ 〇〇協議会 (☐)
職員数	☒ 専任 4人 ☐ 兼任 0人	非常勤 ☐ ボランティア協力者	3人 0人 合計 7人
講座等開催数 (前年度実績)	☒ 学級・講座 138回 ☒ 講演会・展示会等 2回	その他	2回 合計 142回
来館者数 (前年度実績)	☒ 学級・講座 2389人 ☐ 講演会・展示会等 0人	貸館・サークル活動 ☐ その他	4119人 0人 合計 43580人

○事業等の実施状況（『特色ある活動』であげた事業以外で2つ）

区分	事業名	開催回数	延参加者数
☐ 主催 ☒ 共催	用宗漁港でシラスを知ろう	1回	34人
事業概要(共催先も記載)			
静岡県水産漁港課・清水漁業協同組合用宗支所と共催。小学生のりとその保護者を対象とし、静岡県産のシラスについて学ぶ講座を実施。漁船での操舵体験や市場の見学やセリの様子の模擬体験を通じて地元水産業への理解を深めた。			
長田地域の自治会と共催。性別や立場による困難、プライバシーや衛生問題、孤立などの具体的な課題を講演。避難所以外の避難形態や支援制度についても理解を深めた。参加者の防災意識向上に寄与し、地域の防災力強化に貢献した。		開催回数	延参加者数
事業概要(共催先も記載)		1回	69人

施設名

静岡市長田生涯学習センター

○特色ある事業

1. 事業名

ゼロから始める地域のボランティア

2. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

近年、高齢化が進み、介護や見守り、買い物支援などのニーズが高まっている。一方、かつてのようない「地域の支えあい」が難しくなっている。高齢者の孤立防止や地域の安心感の醸成には、地域住民によるボランティアが重要であると考えた。そこで、経験や知識がなく一歩を踏み出せずにいる人を対象に、ボランティアの基礎知識や活動の意義、実践例を学ぶことを通じて、地域社会とのつながりを実感し、自分のできることから行動に移すきっかけ作りを目的に講座を開催した。

3. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

地域の福祉を担う「地域包括支援センター」及び「市・地区社会福祉協議会」との共催により、信頼性と安心感のある講座運営に努めた。

- ・地域課題の「現場の声」に基づいた学習
- ・講座終了後の活動先とのマッチング

4. 参加対象、参加者数（前年度実績）

参加対象	どなたでも	参加者数	26人
------	-------	------	-----

5. 取組による成果や効果

- ・地域での様々なボランティア活動を紹介することができた。
- ・ボランティアの意義、地域課題への理解が深まった。
- ・実際に地域ボランティア活動に参加する人が増え、地域福祉の担い手育成につながっている。

6. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・講座終了後のアンケートにより、受講者から意見等を聴取し、これをもとに評価反省を実施。
- ・施設の重点事業とし、運営委員会において取組内容や募集状況等を説明し、委員から意見を求めている。



7. 今後の目標・展開、次の仕掛け・ビジョン

- ・長田生涯学習センターでは、「地域たすけあいボランティア人材養成」を重点事業として令和6年度から10年度までの5ヶ年計画として展開していく。
- ・5年後の目指すまちの姿として「すべての人が助けられ、見守りを得て安心安全に生活できるまちづくり」を掲げ、引き続き、「地域包括支援センター」及び「市・地区社会福祉協議会」と共催しながら目標達成に向け、人材養成講座のさらなる充実を図っていく。

静岡県優良公民館等静岡県教育庁表彰 事例発表

静岡県長田生涯学習センター

令和8年2月5日

静岡市生涯学習センター



© OpenStreetMap contributors

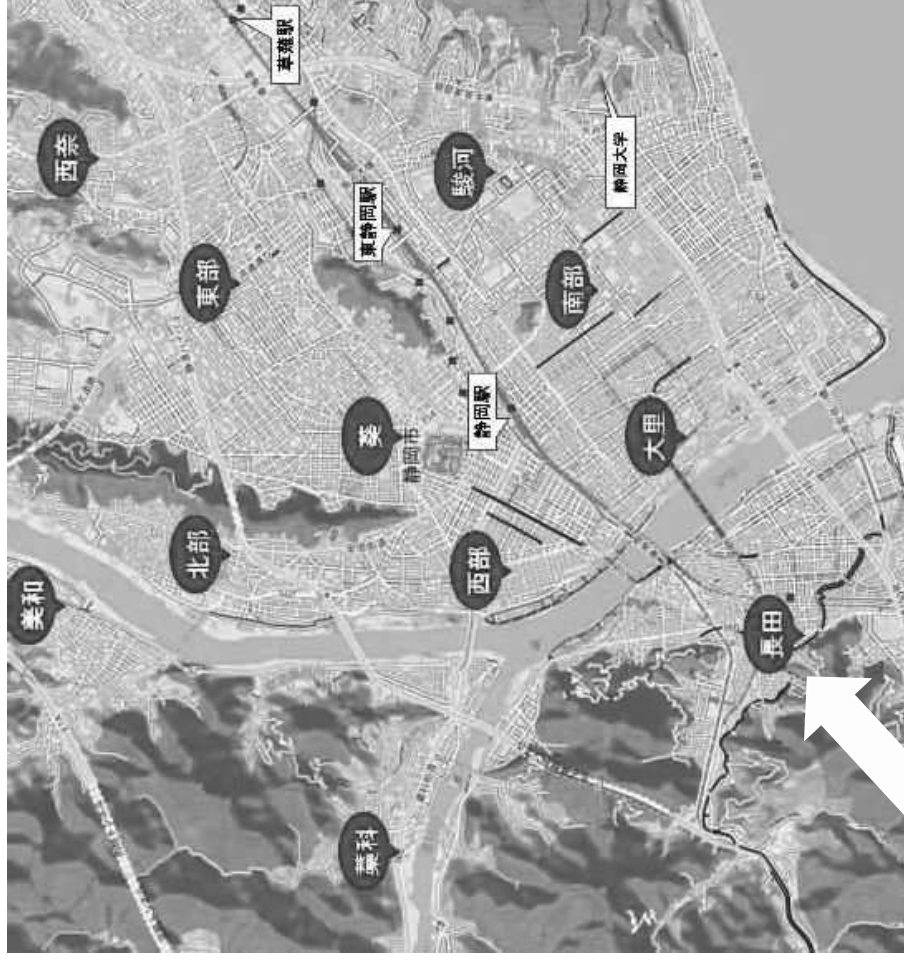
2 生涯学習センターは、主に日常生活圏（地形的又は歴史的に一体的があり、かつ、市民の日常生活に密着している区域をいう。第4項において同じ。）を越えた広い区域に居住する市民を対象に次条に規定する事業を行うことを目的とする

葵区・駿河区の「公民館」が前身

葵区・駿河区に11施設

（公財）静岡市文化振興財団が指定管理者

長田生涯学習センター



施設周辺には長田西、長田南、長田東、川原、長田北の小学校区があり、それぞれが特色のある行事、文化・伝統を地元の人たちが大切に守り育て受け継いでいる。桃やみかんなど果物の収穫のほか、シラス漁の漁業も盛んな地域。

また、東海道五十三次の宿場町である丸もこの地域にあり、歴史や史跡も多く残っている。



長田生涯学習センターでは「海」をテーマに
こんな講座も行っています。



用宗でビーチコーミングとクラフト体験



用宗漁港でシラスを知ろう



海の絵作品展

地域の特産物に関する講座も行っています。



長田の桃を使ったスープづくり



親子で長田のみかん収穫体験

長田生涯学習センターの特色

- ▶ 長田生涯学習センターは、安倍川、丸子川などの川と山に囲まれた自然豊かな地域。
- ▶ 安倍川駅、用宗駅という駅が2つあり、交通の便がよいことから、住宅も増加中である反面、高齢化が進み、長田西学区で見ると、総数12,621人中、60歳以上が、5,195人と、41%が高齢者。10年経つと2,000人近く増加見込みであり、高齢化がすすんでいる。

※静岡市5階級別町名別等人口より令和7年9月統計より

- ▶ その中で、地域では、お互いを助け合うボランティア活動やS型デイサービスなどが盛んに行われている活発的な地域。

人材育成事業

「地域の人材発掘、繋がりを深めるセンター」

平成31年より、生涯学習センターでは人材育成事業を各センターで行っています。

その中で、長田生涯学習センターでは、地域の人材を発掘し、地域へ結びつける事業を行っています。

「地域たすけあいボランティア人材養成」

平成31年度より実施している地域ボランティア講座。

当初は、センターのエリアである長田西学区の活動「ちよこボラ」を取り上げ、講座を実施。

その後、地域で活動している

長田南学区の「ちよこサポ長南」

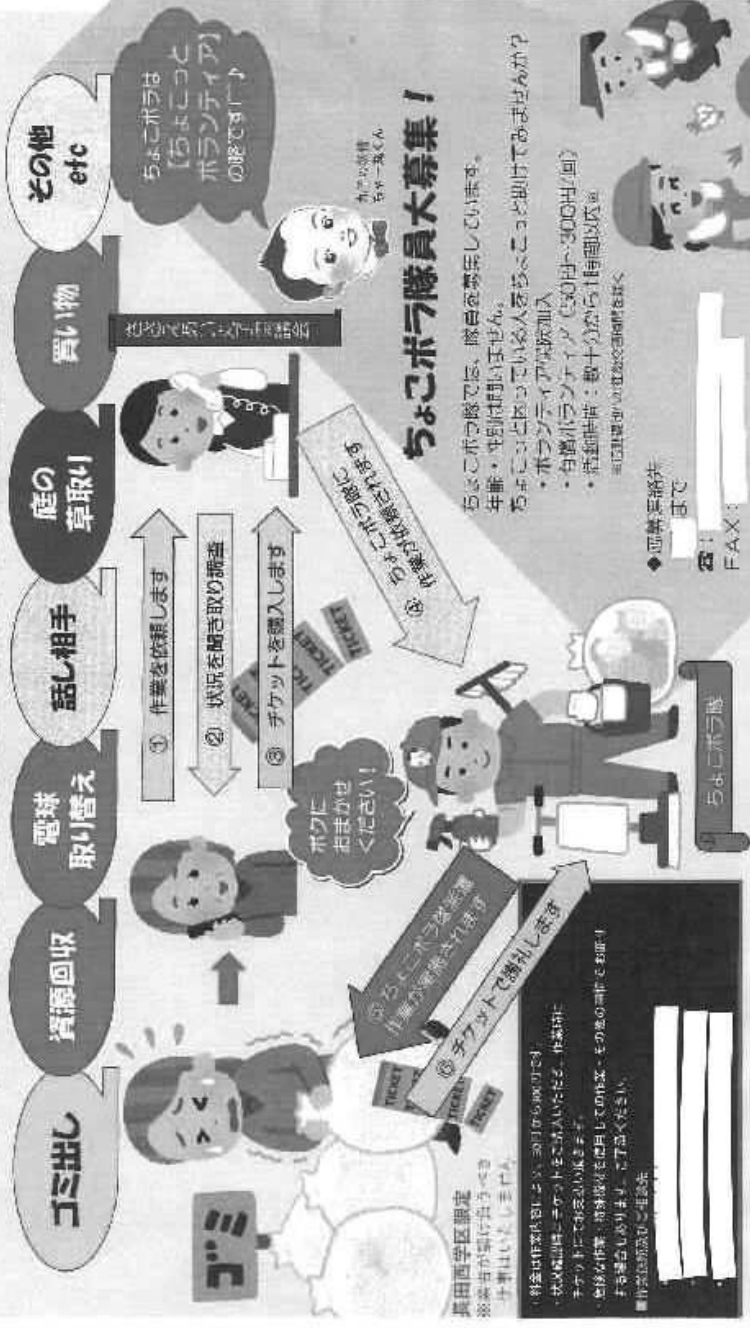
長田東学区の「ささえ愛」

川原学区の「ちよっくら川原」

地域のボランティア団体に協力を依頼、体験や対談、講義など行っ形で講座を実施。

『ちよこボラ隊』をご存じですか？

ちよこボラ隊は、かんたんなお困りごとを解決します!!!



「ちよこサボ長南」 があなたをお手伝いします！

2020年度7月より長田南地区社会福祉協議会主催で住民主体の支え合い活動を始めます。

ふだんの生活の中で、お困りのことはありませんか？

私たち「ちよこサボ長南」のボランティアのメンバーがお手伝いします。

対象者は…？

- 身近な協力が
得られにくく、お困りの方で
- ・一人暮らし高齢者
 - ・高齢者世帯
 - ・障害者世帯

どんなことに対応できますか？

- ・ゴミだし
- ・電球交換
- ・話し相手
- ・草取り

依頼の手順は？



支え合い活動の説明

話し相手

山中、おひとりでお話し相手がいなくてという方、お話し相手のボランティアが話を聞いてくれます。
※お話は1時間程度でお断りします。



草取り

ご高齢や障害などで、家周りの雑草・小庭の草取りに困っている方、ご本人に代わって草取りを行います。
※有線で行うサービスを利用できる方、問題や所内の方で対応できる方については、それぞれご利用ください。
※抜き取った草を捨てるゴミ袋は依頼される方がご用意ください。



電球交換

高いところの電球や蛍光灯を交換できないという方、ご本人に代わって電球や蛍光灯を交換します。
※必要の電球や蛍光灯・梯子は依頼された方がご用意してください。



ゴミだし

町内で決められたゴミ集積場まで出しに行けないという方、指定のゴミ袋にまとめて玄関先などに出したゴミ袋を依頼された方にお預けして回収場まで運びます。
※家庭ごみの範囲です。大掃除などによる大量の場合は除きます。
※依頼された本人が玄関先まで運んでください。



注！

※すべての活動は、ボランティアが5人以上の体制で行います。
使用のユニフォームと名札を付けたボランティアが伺います。

「ボランティア活動の様子」

実際のボランティア活動の様子をご紹介します。



「地域たすけあいボランティア人材養成」 令和6年度プログラム

第1回 ボランティアの基礎知識、活動の意義
生活支援の実践例について

第2回 地域で行われているボランティア活動の体験

第3回 大学講師をコーディネーターに迎え、長田地域の
福祉や支えあい活動について、討論の実施。



保存版

主催 長田東社会福祉協議会

お困りごと、お悩みごと、相談したいことありませんか？

長田東「ささえ愛」をご利用できます

暮らしの中の困りごとに、「ささえ愛」がお手伝いさせていただきます

生活相談(長田東地区住民の方などでも)

暮らしの中での悩みごとや困りごととお電話ください

(原則65歳以上の世帯の方 障がいをお持ちの方)

最近足が悪くなって
ゴミを出すのが
大変だよ。

一人暮らしで
だれかが話を聞いて
くれないかな

電球の取り換えな
どが大変になって
きて



日常に不便をきたしているその他のことにもご相談に応じます
実績：草取り・校払い ゴミ出し 散歩の補助 話し相手 家具の移動等
対応できない案件には専門業者の紹介 関係機関の紹介などします

※受付対応時間 毎月曜日9：00～11：30
祝日及び年末年始を除く

連絡先 〇〇〇〇〇〇〇〇 (直通)

常時ボランティアも募集しています あなたの余力をお貸しくください
年齢は問いません お問い合わせは上記電話番号まで

裏面へ

「ささえ愛」利用料金表

ゴミ出し(可燃)	1回 100円	週 1回	ご自宅から集積所まで
ゴミ出し(ビン・カン)	1回 100円	月 1回	指定日
古紙等回収	1回 100円	月 1回	指定日
草取り	1人 200円	1時間程度	
校切・校払い	1人 300円	1時間程度	草取りとは別料金
話し相手	1人 100円	1時間程度	
電球等交換	1人 100円	電球等購入依頼は別料金	
買い物代行	1人 100円	電球等作業に必要な物品に限る	
散歩同行	1人 100円	1時間程度	介助がいらない方
その他の依頼	状況に応じて判断します		

作業までの流れ

- 1 お電話いただいたあと、係りが現地や状況を確認します
- 2 作業の可否を判断後、作業日程等を調整し利用料を頂きます
- 3 基本2人以上のボランティアが作業等に伺います





「おたがいさま」を合言葉に!

ちよっくら川原

暮らしの中のお困りごと、「ちよっくら」お手伝いさせていただきます。

支援内容

ゴミ出し	1回 50円 (週1回まで)	ご自宅の玄関から 集積所まで
草取り	1人 200円 ×人数分	1時間程度、ゴミ5袋まで (集積所への距離は別添)
安否確認	1か月 50円 (月5回まで)	お電話で健康状態等の確認
話し相手	1回 100円	1時間程度、 ご自宅へ伺います
散歩や買い物 の補助 (つきぞい)	1回 100円	1時間程度、 2名で 介助がいらない方 うかがいます

※入浴時の水やりなど設備必要に对应します。お気軽にご相談ください。

対象者
川原地区にお住まいの
日常に不便をきたしている
お一人暮らしの高齢者
または
高齢世帯
障がい者(年齢不問)



申込先
ちよっくら川原事務局
ちよっくら川原事務局
川原地区社会福祉協議会会長

受付時間
毎週月曜日 9:30~12:00
(年末年始祝日休みを除く)

利用料
50円から 事前にチャットを
購入していただきます。
お支払い
市外の場合は料金は「別途」を別途
していただく場合があります。

申込先に連絡
事前調査より
初回日を連絡します。

事前の確認にうかがいます
内容の確認後、調査員よりチャットを導入。
(50円券・100円券・200円券いずれか)

**日程が決定したら
ちよっくらお手伝いします**
支援 ●ゴミ出し ●草取り ●安否確認
内容 ●話し相手または散歩

主催：川原地区社会福祉協議会 地域支援会(合同)

実際の体験の様子



長田生涯学習センターでは、
高齢者の居場所をつくる活動もしています。



長田地域包括支援センターと協力し、「おさだっぷ」という講座を年に7回開催しています。

今後の展望

地域での高齢者が増加している。
その高齢者も地域活動に参加することで孤立を防ぎ、
また、ボランティアという地域活動に参加することで
生きがいをもってもらうようにしていく。

地域でのボランティア活動が盛んになれば、地域の活性化につながり、孤立防止、共助の風土づくりにつながる。

ご清聴ありがとうございました

令和7年度優良公民館等静岡県教育長表彰 受賞館の取組

施設名	静岡市 船越生涯学習交流館		
所管部署	静岡市 生涯学習推進課	HP	
所在地	静岡市清水区船越三丁目12番74号	電話番号	054-351-3121
SNS	https://www.ssgk-shimizuku-shizuoka.jp/ https://x.com/funakoshisgk		

○施設概要



施設の沿革・年表		施設の運営で大切にしている考えなど(PRポイント等を含む)
平成3年6月	清水市船越公民館	船越地区は、清水区南西部の有度丘陵縁辺部に位置し、比較的自然的に恵まれた郊外住宅地である。新興住宅地で世帯の伸びと共に子育て世帯の多い地域である。また、高齢者も多い地区であり、隣接する市老人福祉センターの利用と共に当館を利用する方も多く、利用者の年代は比較的高めである。若者世代の利用を促進するため、地区自治会、子ども会の連携や小学生など子供対象の行事を増やすことにより、子育て世代の利用者増加を図るべく、講座の企画に工夫をするよう心掛けていく。
平成15年	静岡市船越公民館（静岡市と清水市の合併）	
平成20年	静岡市船越生涯学習交流館 （教育委員会から市長部局へ移管）	
令和4年	建物老朽化により新交流館への建替え着手 （仮設事務所にて学習活動の業務継続）	
令和6年4月	新館完成・開館（貸館業務再開）	

市町人口	668570人	施設対象人口	11437人
建物設置年月日	平成3年6月2日	開館日数 (前年度実績)	315日

運営主体	☐ 市町教育委員会 ☒ 指定管理者 ☐ その他	(清水区生涯学習交流館運営協議会)
職員数	☐ 市町首長部局 ☐ 専任 1人 ☐ 非常勤 5人 ☐ 兼任 0人 ☐ ボランティア協力者 0人	合計 6人
講座等開催数 (前年度実績)	☐ 学級・講座 84回 ☐ その他 0回 ☐ 講演会・展示会等 0回	合計 84回
来館者数 (前年度実績)	☐ 学級・講座 3309人 ☐ 貸館・サークル活動 15147人 ☐ 講演会・展示会等 0人 ☐ その他 0人	合計 18456人

○事業等の実施状況(『特色ある活動』であげた事業以外で2つ)

区分	事業名	開催回数	延参加者数
☒ 主催 ☐ 共催 事業概要(共催先も記載)	HSP「人一倍繊細な人」	1回	12人
視覚や聴覚などの感覚が敏感で刺激を受けやすいHSPの特性を学び、治療することのできない、生きづらさを感じるHSPとの付き合い方を習得する。			
☒ 主催 ☐ 共催 事業概要(共催先も記載)	こんちゅうクンの昆虫「体験」教室	1回	50人
講師である「こんちゅうクン」と五感を活用して楽しく昆虫とのふれあいを体験する。また、自然体験が減少していることも連に、身近な自然や環境について考えるきっかけ作りをする。			





静岡市 船越生涯学習交流館

施設名

○特色ある事業

1. 事業名

交流館ボランティアはじめませんか？

2. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

旧館の時から交流館の活動をお手伝いしてくださる方々の存在はあった。しかし、新館の建設が行われた2年間は仮設事務所での業務であったため、ボランティア活動が中断してしまった。新館での業務再開に向けて、地域の方々との連携を深め、より愛着のわく交流館、より良い交流館とするためボランティアを募り、あらためて地域と一緒に成長していける交流館を目指し、当講座を企画実施することとした。

3. 取組内容(力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など)

地域と連携して、より良い交流館の運営を目指すため、ボランティアの育成やその活動の計画を行う。(全3回)

- ①新館の見学を行い、社会福祉協議会職員からボランティアについて講義を聞く。
- ②館長から交流館の様子を聞き、どんな活動ができるか皆で話し合った。
- ③考えたボランティア活動を体験し、今後の活動について考える時間を持った。

4. 参加対象、参加者数(前年度実績)

参加対象	どなたでも10人	参加者数	15人
------	----------	------	-----

5. 取組による成果や効果

定員を超える応募があり活動に対する意識の高さを感じた。社協職員も全体講義での基礎知識の講義やアドバイス、その後の定期的な活動にも参加しフォローしてくれた。参加者も個々に活動を考えるなど意識の向上や参加者同士の繋がりがりも強くなった。活動を知った方が新たに参加してくれるなど、活動が広がっていく手ごたえを感じた。

6. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

講座終了後1年以上が経過したが、10人前後の方が月1回の定期活動に快く参加している。社協職員も長い時間フォローしてくれ活動の定着の要因となった。参加者の自主的な意識や考えて継続できると感じており、一緒に進んでいく事が大切であると感じている。

7. 今後の目標・展開、次の仕掛け・ビジョン

令和6年度の講座に参加してくれた方が活動の主要メンバーであるが、引き続き来館者等に向けボランティア活動の様子をお知らせしつつ、メンバー募集のアナウンスを続けている。今年度は交流館の大きなイベントである「交流館まつり」や「子どもまつり」にも昨年度以上に参加をお願ひし、より多くの方々に交流館を知ってもらい、一緒に楽しく活動できる「仲間」を増やしていきたいと考えている。

令和7年9月から来館者のお一人が新たにボランティアの仲間になってくれた。

優良公民館等静岡県教育長表彰

「交流館ボランティアはじめてみませんか？」

静岡市清水区 船越生涯学習交流館

- 1 交流館の紹介（沿革）
- 2 新館建設の様子
- 3 講座企画のきっかけ
- 4 講座の実施
- 5 講座後の活動

1 船越交流館の紹介(沿革)



昭和48年建設の旧料亭旅館（京稻旅館）… 建設から約49年経過した建物
平成2年、旧清水市が取得し交流館として改装
平成3年6月、船越生涯学習交流館として業務開始（清水区で16番目の交流館）
以後、約31年間 交流館として活動し、令和4年3月 閉館し、解体工事をスタート

新館の全景



有度山の丘陵辺縁部、少々高台に位置し清水区の市街地を一望でき、その先に富士山の雄姿が望める、とても恵まれた地域にあります。

清水船越堤公園のほとりに建ち、春の桜の時期には館の周りが、とても華やかに彩られます。



3 講座企画のきっかけ

建替え期間中、令和4年4月から令和6年3月まで、生涯学習団体は近隣の交流館や老人福祉センターなどをお借りし活動を継続した。

生涯学習交流館		8 館	(3 2 団体)
老人福祉センター	...	1 館	(9 団体)
単位自治会館		2 か所	(2 団体)
自宅等		2 か所	(2 団体)

この間、ボランティア活動も休止した。

今まで築いてきた地域との連携が
途絶えてしまわないか...？



新たな交流館を地域に密着した館にしたい。

ボランティア活動を再開したい。

交流館からの思いを伝える講座の企画

4 講座の実施

ボランティア養成講座の企画

何をしてもらいたいのか

- ・交流館の管理（除草、図書整理、その他）
- ・イベントの応援（受付、場内整理、駐車場整理...）
- ・地域との橋渡し、連携（餅つき、バザーの開催）

何人くらいお願いしたいのか

- ・ボランティアの内容に沿った人数

地域との良好な連携を築きたい

- ・地域に開いた交流館を目指したい

講座の実施（令和6年5月15日～5月29日） 1日目（5月15日）

募集人数：10人

応募人数：15人

ボランティアについて学ぶ

新しい交流館を見学する

- ・各部屋、駐車場、花壇などを見学、確認する

参加者の親睦を図る

- ・簡単なゲームなどでアイスブレイク

「ボランティア活動って何だろう？」

- ・社会福祉協議会職員によるボランティアの基本の講義

講座の実施

2日目 (5月22日)

交流館ってどんなところ？

館長から交流館の様子を伝える

- ・ 沿革、施設・業務紹介、年間行事 等の説明

参加者ができること、やりたいことを話し合う (1人→2人→グループ)

- ・ 館の管理 (図書整理、花壇手入れ、草取り、水槽清掃...)
- ・ 参加者から「こんなことをやりたい」など、自主的な発言が聞かれる場面があった

参加者の意見や考えを聞く

- ・ グループ発表を行い考えを共有する

講座の実施

3日目（5月29日）

ボランティア活動を体験する

ボランティアの仕方を聞き活動してみる

- ・図書、花・草取り、作業のやり方を聞く
- ・各作業を実際に体験する（成果が上がり達成感を得ることができた）

自分のやってみたいボランティア活動を考える

- ・アンケートに記入し提出

これからの活動日程、グループ編成を考える

- ・図書、花の植替え、草取り
水槽の清掃、イベント手伝い 等、できること、やりたいこと

講座後の活動

講座で話し合った今後の予定を基本に、月1回活動を実施することとした。

活動内容

- 花壇、周辺の除草、プランターの花の植替え



講座後の活動

活動内容

● 図書室の整理



- ・並べ替え
- ・貸出時に挟んだしおりの外し(返却日記入)
- ・補修箇所の確認
- ・書架の清掃 など

講座後の活動

活動内容

●水槽の清掃

1 階、エントランスにある金魚の水槽を定期的に清掃、レイアウト変更する



講座後の活動

活動内容

- 交流館まつり、その他行事のサポート
- 親睦（年1回、昼食会）



- ・ 飾り付けの手伝い
- ・ 館内整理 など



- ・ イベントの受付
- ・ 交通整理、などのサポート



講座後の活動

活動内容

●メンバーの募集、活動報告

活動の様子などを載せた案内を作り
館内に掲示しメンバーを募っている

